

## ミニ懇談会報告書

申込者：桜台3丁目自治会

テーマ：桜台センターを有効活用することで高齢者のふれあいを高めよう

日 時：平成29年2月5日（日） 午前10時～午前11時50分

場 所：桜台センター2階研修室

出席者：桜台3丁目自治会 会長ほか7名

市側：市長 秘書広報課 課長ほか2名

挨拶：市長

ミニ懇談会趣旨説明：秘書広報課長

### 【趣旨説明】：秘書広報課長

本日はミニ懇談会を申し込みいただきありがとうございます。

ミニ懇談会は、少人数の皆様と市長が膝を交えて懇談させていただき、今後の市政運営の参考にさせていただこうという趣旨で開催しています。あくまでも懇談会ということですので、この場でただちに課題の解決を図る、市の方針を決定するという場ではないと思っていますので、よろしくお願いいたします。

従いまして、今回もいろいろと桜台地区の課題が出ると思いますが、それぞれの担当課が分担して事務を進めていますので、私ども秘書広報課担当の方でお伺いして後ほど回答させていただきます。

懇談の時間ですが、概ね1時間半くらいを目安とさせていただきます。

また、皆様が等しくお話しできるような進行をお願いできればと思っていますので、よろしくお願いいたします。

### 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。市長の伊澤史夫です。本日は、桜台3丁目自治会からのミニ懇談会の申し込み、ありがとうございます。このミニ懇談会は、今年度3カ所目になります。

私は、市長に就任以来、地区の皆さんと膝を交えて、いろいろ話したいということで、こういったミニ懇談会や中学校区単位のタウンミーティングをやっています。かなり多くの方々と意見交換をさせていただくことができました。市政を運営するうえで大変大きな参考となっております。

今日は、せっかくの機会ですので、少し市政についてご報告とお話をして挨拶にかえさせていただきます。

まず、市では、介護予防や病気の予防ということで、健康づくりに力を入れています。何よりも、今男性は平均で約81歳、女性は87歳までの余命があるわけですが、人によって個人差はありますがその平均余命からマイナス9年ぐらい前から病気で伏せたり、介護が必要となると言われています。そのマイナス9年、10年をなるべく短くしていけば健康寿命が延びるわけで、これはご本人にとってもご家族にとっても地域にとっても、そして市にとっても大変良いことですので、いろいろな課が努力を合せて健康づくりをしています。梨トレ体操や、皆さんもやっている楽トレ体操もその一つですが、脳健康や心の健康も含めてやっています。

次に、今、白井市役所が耐震改修をしています。これは6年前の東日本大震災のときに、通常災害時は市役所に災害対策本部を設置するわけですが、余震が強かったということと、今の市役所が耐震基準を満たしてなかったということで、隣の保健福祉センターに急遽、対策本部を設置した経緯があります。ただ、保健福祉センターだと国、県からの緊急連絡が一切入ってこないということで、やはり緊急無線や緊急電話のある市役所に戻ったという大変苦い経験がありましたので、耐震を進めてい

ます。その耐震の方法は、現在8階建ての庁舎ですけれども、5階以上を取り壊す、減築と言うのですが、取り壊した分を隣に新築を建てるといふ、恐らく全国の市役所でも初めての工法ではないかと思ひます。これはどういふことかといふと、5階以上を取り壊すことによつて、柱が8階建てですからそれで耐震化されてしまふと。それで、足りなくなる分を今市役所の隣に3階建てで建てていますが、この5月にそちらに引越しが終わりますので、それから今の市役所の5階以上は取り壊すといふ工事になります。来年の4月には、全て完成する予定です。ですから、今まで8階だったものが、二つの棟が並んで、3階建て一部4階になるわけですね。そして保健福祉センターと合わせて三つの棟になります。今まで、市役所から保健福祉センターに行くには外を歩いて行かなければならなかつたのですが、新しい庁舎を真ん中に建てることによつて、中廊下で全部つながるといふことになり、雨風もしのげるといふ、大変利便性の高い庁舎になります。

さらに、今の庁舎の1階には印西警察署分庁舎といふ警察機能が入ります。これは市役所の中に警察が入るといふことも全国で初めての例になるのですが、白井市には警察署がなかつたので、何とか警察がくるようお願いをして、場所を提供するといふことで、県にも認めていただきました。県からは留置場のない警察と聞いており、警察の機能はほとんどあるといふことで、今度はすごく便利が良くなるのではないかと思ひます。

何よりも、この桜台地区は、白井の一番東側で印西市と接しているわけですが、この北環状線が大動脈になると思ひます。この完成が待たれるわけですが、いろいろ皆さんもご存知のとおり、去年のちょうど今ごろ、ある会社とURが補償などで大きな問題になりまして、工事がストップしてしまつたわけですね。私の方としては何とか早くこの北環状線を開通していただきたいといふことで、URと県に強く申し入れていまして、まだまだハードルがありますが、何とか開通して、この地域と白井市役所が直結できるような形に持っていければと思ひますので、もう少しお待ちいただければと思ひます。

市政の近況報告を兼ねながら、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 【進行】会長

それでは、資料に基づき始めたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

まず、桜台センターの有効活用利用についてのお話をさせていただきたいと思ひます。

## 桜台3丁目自治会

今でも、桜台センターは非常に有効利用されてはいると思ひますが、この桜台3丁目を含めて、高齢者がだんだん多くなつてきていて、高齢者の集まるような場所が非常に少ないのではないかなと感じていますので、ぜひこういうことをテーマに加えてもらいたいといふことで考えました。

桜台センターの1階についてですが、まず児童館の利用方法を考えていただいて、中学、高校生が本当にここに来ているだろうか。そういうことも考えますと、もう少し使い方を考えてみたらいいのかなと思ひています。

我々が一般に打ち合わせをしているのは、市民ホールといふところを使っています。この児童館といふところは、昼間、学校のとときは利用者がいないわけですね。そこを何とか有効利用のため、高齢者が集まるような場所に提供していただけるかどうか。もちろん児童福祉法などの決まりがあつて決められているとは思ひますが、空いている時間は、そういうことにも使えるようにしていただけないだろうかといふことをご提案したいと思ひます。

特に3丁目のことを申し上げますと、3丁目は集会所もなく、必ずここを使うということになりますので、会議等もここを使っていますが、本当に気楽に高齢者が談話室的に使えるように、何か考えることができないだろうかというお願いです。

その次に保健室の件です。これは1階の端の方に、保健室という部屋があります。これは常時、鍵がかかっている、健康診断、それから高齢者の体力測定等のときしか、多分使われていないだろうと感じています。

ここを、先ほど市長がお話いただきました高齢者の楽トレ運動、それから簡易的に高齢者が簡単な運動ができるような場所に提供していただけないだろうかと考えています。

3丁目もだんだん高齢者が増えて、日中も散歩している人がたくさんおられます。他の集会所では今、楽トレということが非常にうたわれて推進されています。確か、現在9カ所で、そういう楽トレ運動というのをやっています。市役所の向かいにある千葉白井病院の中にウィズホスピタルという場所があるのですが、ここは非常に環境がいいところで、入所している方だけではなく、近所からも集まってきます。そこで去年の11月から、今年の1月31日までの3カ月間、私が行って教えてきたのですが、非常に好評で、最後にどうでしたか、とお話を聞いたのです。そうしたら、「旦那さんが亡くなってとても落ち込んでいたけれども、ここに来るのが楽しみになりました」、「こういう運動ができて、毎週ここに来るのが非常に楽しみです」、「階段を上がれなかったのが、上がるようになった」と、皆さんから非常にいい話が出てくるのです。

これは桜台3丁目の私としても、何とかここでそういう楽トレを推進していきたいと考えています。

ですからここは、ぜひ空いている時間、もちろん健康診断や体力測定など、市で計画されているときは、優先でお使いいただいて、ぜひ使わせていただけないだろうかというお願いです。

ただし、この保健室の中は若干間仕切りがしてあるのです。出来れば撤去していただいて、広く使わせていただければ、ありがたいと思います。

### 桜台3丁目自治会

私の母は85歳ですけれども、ちょっと認知症になりかかっていたのですが、こういうトレーニングに行くようになって、元気になりました。市長がおっしゃったように、健康年齢がすごく大事ななと思ひまして、なかなか家にこもっている人は出てこないのです。市からもいろいろ、センターを使っているという資料はいただいているのですが、予約をとったり、誰かが準備をしたりということではなくて、いつもそこに行けば人が集っていて、みんながそこで体操していて、体を動かして、誰かがいる、誰かと話せる、そういう場所であつたらいいと思うのです。

桜台センターで実施しているケンズ・カフェなど、いろいろなことをやっていますが、なかなか人が集まっていないと聞いています。だから、その場所に行ったら人が集まって、「では何時から体操を始めますよ」とラジオ体操のように楽トレをいつもやって、何か交流が始まって、体を動かすことで何か皆さんが元気になる、健康年齢が上がる、そういう地域づくりというのか、コミュニケーション

ンというのか。ここ3丁目というのは、結局ニュータウンなので、もともと白井の地の方と違うのです。長いこと住んでいるわけではないので、旦那さんが東京にお勤めといった感じの人が20年住んで、だんだん年齢が高くなって定年退職して、これからどうしようかなと。だから横のつながりがなかなかなくて、自治会を決めるにしても、私が会長をやらせてもらって、今日もいろいろな不手際があったと思いますが、くじ引きで当たりました。回覧板を回す25の各ブロックから出てきて、くじ引きで当たりました。どうやっていいのかわからず、ずっとやってきましたけれども、だんだんと年齢が高くなって、今55歳ですけれども、主人は60歳過ぎていて、これから先、地域のつながりを作っていきたい。地域のつながりを作ろうと思っても、隣同士全然知らない。道路を隔てた隣の人たちは、お名前も知りません。全然交流がないです。ごみを出すところの人だけ交流があって、あとは全然知らないです。

今回、皆さんとも自治会を通じて知り合ったのです。全員自治会がなかったらお目にかかることがなかったです。3丁目はかなり広いので、端と端だとかなり離れるので、全然出会うことがありません。今回、こういうことでお知り合いになれて、ちょうど去年の4月に自治会の総会の日には主人が倒れまして、何とか助かって半年で仕事に復帰できましたけれども、結局若いと思っていた主人が、いつ倒れて、いつ亡くなるかもわからないという危機もあったので、そういうことを考えると健康体操で健康に生活するということは、とても大事で、もし自分が一人残ったときに、この地域で皆さんと仲良く交流を持てたら、一人落ち込まずに生きていけるのかなと。そういう場が欲しい。

だから、いろいろやっていることもありますが、何かどなたかが役員になって、どなたかが準備して、行くときに「どうしよう」みたいな感じになると思うので、もう少し敷居を低くしてもらって、何かちょっと行って、みんなで楽しく体操して、楽しく会話して仲間づくりができる、そういうところがあればいいかなと思って提案させていただきました。

### 桜台3丁目自治会

桜台小学校区地区社会福祉協議会と高齢者クラブ「白桜会」の両方に関わっているのですが、白桜会でも、もう平均年齢が70歳台後半になってきています。

資料にいろいろクラブの活動を書いていたのですが、この活動ができない。だから、もっと楽という大変ですけども、今の懇談会的、サロンの場を作ってくれという要請があるのですが、集約できていないのが現状です。

そういう面で、今のご提案をぜひ実現して、ここに開設していただければありがたい、というのが正直な気持ちです。

もう一つ、地区社協のサロンも去年1年間で7回、やらせていただいているので、今までは全くフリータイムで、20人ぐらいが大体平均で集まってやっていた状態ですけども、少し前進してきているというのが現状で、今年のサロンが今月の17日にあるのですが、それくらいから一歩前進するかなという状況があります。そこは少し形が違うので、ここができれば、ありがたいと思っています。よ

ろしくお願いします。

## 市長

ありがとうございます。桜台センターの有効活用について、さっきお話があったように、一番活用できそうなところは保健室です。確かに年に数回しか使っていないくて、これについては活用できるように、市でもすぐに取り組みたいと思います。

そのときに、仕切りを取っ払えるかどうかということも含めて、皆さんが活用できるように、これはすぐに取り組みます。

問題は、児童館なのですけれども、法的に言うとかかなり厳しいです。この桜台センターは、法的には児童館と公民館という複合センターで、児童館については18歳までの子どもが対象で、利用人数を調べてきたところ、年間約2万1,000人の子どもたちが利用しているのです。1日平均で70人になります。昼間は空いているということで、確かにそうかなと思ったのですが、児童館は小さい乳幼児から青年まで使えますので、いつでも基本的には開けておくということが前提になります。ただ、恐らく平日は空いている日が結構あったから、そういうお話になったと思うのですけれども、ここは出来るかなと考えていたのですが、即答はできない状況で、指定管理者である「しろい光夢辿」との関係もあるので、その辺は少し検討させていただいて後ほど回答をさせていただくことで、児童館の方は了承したいと思います。

いずれにしても保健室はもったいないので、何とかみんなで開放して、場合によってはそこで集会、集まりのようなことを出来るのではないかと思いますので、皆さんが使いやすい形で早急に考えさせていただきたいと思います。

## 桜台3丁目自治会

次に2点目、桜台地区の5丁目から西の開発について説明します。5丁目から西側の開発で今、問題というのか、ここに「シロマル」というリサイクル屋があります。もう一つ、多分去年できたのですが、「興和金属」という、ここもリサイクル屋のようです。土地は、変形していて小さく見えますけれども、これはかなり広い土地です。

北環状線の方に向かっていきますと、途中にかなりそういうプレハブの工場というのか、何か積んでいくようなものが見られたり、土を盛り上げてあったり、それから、また開発するために平たんにならしていたりといったものが、だんだん出てきています。

これらについて、市としては今後どのように開発の許可がされるのか、こういったいわゆるリサイクル屋が増えてくるのでは、ちょっと問題があるのではないかと、私は気になって、その辺の話を聞いてみたいと思っています。

## 市長

この「興和金属」については、昨年のタウンミーティングでも話が出まして、いろいろ調べたところ、ここに持ってきて、そこからまた運んでいくという一時保管施設で、ストックヤードのようなものではなく、ここで何かを処理をするところではないことはわかっています。

「シロマル」については、確認していなかったのが今分かりませんが、この地域の開発の全体的なことでお話ししますと、もともとこの地域は千葉ニュータウン区域で、駅ができる予定でした。いろいろな状況があって区域除外にされました。それから2本、水が湧いていて川になっています。「せんがみの谷津」と「沢山の泉」、それから国道464号線を挟んで、こちらに「遠谷津」があります。ここはもともと、船橋カントリーの新コースの一部でもありました。そういうことで、基本的に大変豊かな自然のところですよ。今でも、水が湧いています。これをまず残したいということで、市では沢山とせんがみ、特にせんがみについては、元ニュータウン区域ですから、企業庁の所有地でした。船橋カントリーの新コースも、一部は企業庁が所有しているということで、せんがみについては市が買い戻しました。この沢山と、せんがみの間に新コースの跡があって、原っぱですけども、そこは企業庁から無償で土地をいただきました。

まず自然を残していくということで、今この中には、谷田、清戸地区の地主の個人の方の土地もありますので、主に谷田、清戸の方々と、市長になってすぐの年から協議を始めまして、自然を残す方向で、今のままなるべくいじらない。なおかつ、市民の皆さんが憩えるようなものを作っていくということで、話が進んでいます。

ですから基本的には、この豊かな自然は残ります。問題は、こういった道路沿いのところなのですが、法的に住宅は建ちません。白井市も開発許可の権限を4年前に県から受けていますが、開発ができない区域、住宅が建たない区域になっています。

ただ、これは住宅であって、資材置き場などについては、農地であれば農地転用をすれば法的には可能です。そういう資材置き場や作業場などをどこまで制限できるかというせめぎ合いであって、市街化調整区域ですから、事務所などは基本的には建たないのですけれども、農業用倉庫などが建ってしまうことも実際ありましたし、一番まずいのは無許可で建ってしまうということがありますので、今も白井市内には、かなり無許可で建てた建物があります。白井市が権限委譲を受ける以前からの、県が権限を持っていたときからの積み残しがたくさんあるので、やる気になれば取り壊しまでできる法はありますが、日本全国、それを適用した例はほとんどありません。それは、既得権がかなり優先されてしまうということで、一件ごとに裁判をかけてやるようになるのですが、何とかならないのか、私もいろいろ担当課と協議したのですが、かなり難しいです。だから、日本全国でやったことがないということで、実際、違法建築であっても電気も通るし、水については例えば井戸を作ってしまうということで、生活が出来てしまうわけです。本来であれば、用途地域にあった土地の使い方になるのですが、恐らく今回の件については許可を受けているので、特に法的には問題がないものになっています。

ただ、許可を受けたとおりに使っているかどうかは、やはりチェックしなければいけないので、去年タウンミーティングをやった後、チェックしたときには合法的であるという結論が出ています。これについても、すぐ担当の方に指示をしまして、どういう形になっているか、確認をさせていただきたいと思います。

全体的に見ますと、市街化調整区域であって、豊かな自然を持っている地区です。白井市でも、このようにまとまった森と湧水があるところは、あまりないものですから、これは守っていきます。ただ、まだこういうことが出る可能性もありますので、許可のないものについては、よく監視をしていきたいと思います。

### 桜台3丁目自治会

ありがとうございます。市長からお話があったように、確かに桜台のこの地域の中には、水神様があるのです。これは必ず残してほしいなと思っています。

このあたりについては、フロンなどの回収もやっているようです。フロンガスは、だんだん使えなくなってきた、2020年ぐらいまでには全廃ということで多分、規制されていると思うのですが、こういうところは、市からの立ち入りをぜひやっていただきたいと思います。本当に正しくやっているのかという確認をお願いしたいと思います。

### 桜台3丁目自治会

小学校や中学校のすぐ近くなので、火災や爆発ということがあると子どもたちが一番影響を受ける場所でもあるので、そこが一番心配だと思います。

ニュータウンできれいな街並みがあって、ちょっと走ればこうなるのかというぐらい落差が大きいと思うのと、市長さんがおっしゃっていた今の豊かな自然、その自然も隠れてしまいます。道路から見たら、その自然がどこにあるのか、ということになってしまうので、せっかく北環状線が通っても、「ここはどうなの？」というようにイメージダウンになると思います。

この間の映画の撮影やいろいろなプロモーションビデオなど、1年に2回も来てくれる素敵な街並みという、映画が撮りたいという3丁目なので、そこからちょっと一歩走ると、この状態ということが、ちょっと寂しいかなと思います。その開発が、これ以上進まないように、よろしくお願いします。

### 桜台3丁目自治会

次に、3点目です。3点目は地図に写真を張っています。まず、3丁目のメインの幹線道路ですが、最近白線が消えているのではないかと、車を運転しながら感じていたので調べてみますと、やはりイオンから3丁目に向かって行く道路だけでもかなり消えているのです。

特に私が感じているのが、このイオンの角の交差点は非常に車が多いのです。イオン側から走ってきて、二車線で入ってくるのですが、その先で一車線に絞られてきます。そこが最近はまだ削り取ら

れていて、そういう注意も消えてきているので車が2台突っ込んできて、危ないと思うことが何回かありましたので、お願いしたいと。

また、3丁目から印西の方に行く道路も消えています。特に、ここは「減速せよ」という記号が道路に書いてあるのですが、これが消えているのです。カーブで非常に危険ですけども、そういう場所があります。

あと前方に、「ここに交差点あり」という菱形マークも消えてきています。ぜひ、そういうところは何とか塗り直しをお願いできればと思います。

もう一つ不思議だと思うことがあるのは、このイオンとの間の横断歩道で、印西側は明確に塗り替えられています。3丁目のこの横断歩道は、塗り替えがなかったのです。これは確か去年にやっていたのです。なぜ、白井側は一緒にやらないのだろうと考えていたのです。

白井と印西の境界というのは、道路の真ん中ではなくて、この白井側の道路の端っこで、塗り替えられなかった横断歩道は白井側ということはわかっているのですが、印西も冷たいなとは思っていて、何か対応できないものかなと考えています。

それから、住宅の方に入って、右折車と直進とに分かれる部分もほとんど消えています。

あと学校の前、それから桜台センターからナリタヤがあるところもほとんど消えていると思います。それから桜台幼稚園がある道路沿いも、かなり薄くなってきています。

## 【進行】会長

信号のことはいいですか。

## 桜台3丁目自治会

信号は、ナリタヤから社会保険大学校に向かう交差点のところだと思いますが、できる予定で進んでいるはずですけども、これは公安委員会が多分、設置すると思うのですが、あと桜並木を若干枝払いするとかいう話は聞いています。

そういうことで、ここらも信号がついていけば、安全になってくるかなと考えます。道路沿いの白線のことについては、見ていただければわかると思いますので、お願いします。

次ですけども、道路の歩道のでこぼこが非常に最近多いです。多分、散歩して歩いていくと、四角い60センチ角の石畳のところ、ひどいところは、ここの3番街の横と柳堤公園前が、木が根っこで押し上げているように思うのですが、ここら辺は年寄りの方は気をつけて歩かないと、つまずいてしまいます。この柳堤公園と3番街の横、あと若干、1番街というところもあるのですが、主にこの柳堤公園のあたりが一番盛り上がってきています。そういうところを見てもらって、何か手直しや補修をやっていただければスムーズに歩けるのではないかと思います。木の周りに鉄柵で囲ってあるのですが、これが持ち上がっているところがたくさんあります。だから、ちょっと歩きづらいというところがありますので、道路課に何かお願いできれば、チェックだけでもしてもらって、ひどいところ



は直していただければ、ありがたいなと思います。

それから、このセンターの近くだと思うのですが、街灯の分電盤があるのです。この道路沿いの街灯の分電盤、ボックスがあるのですが、これが腐って下の方に穴があいているのです。ちょっと年数も経ち過ぎて、工事屋だと思うのですがガムテープを張って雨よけになるようなことをやっているようです。これでは非常に危ないし、またネズミ等も入れる危険な状態です。地区全体に送っている電気の分電盤ですので、もしものときは、この地域が全て停電する可能性があります。では明日変えてくださいということにはできないと思いますが、少し早目に対応が必要ではなかろうか思います。

そこで生意気なことを言いますと、この構造自体に問題もあると私は思います。なぜかと言いますと、ここに基礎が打ってあるのですが、基礎はグラウンドレベルから大体100センチぐらい上げて、その上にダクトと言って、さらに高くするのが一般的なのですがけれども、ここの構造がもうちょっとそういうことを考慮して高くすれば、これは多分犬のおしっこも影響しているだろうと考えます。

ですから、その辺の構造的なことも、今度作るときはぜひ検討していただいでいただければ、長持ちするものができるのではないかと思います。

## 市長

ありがとうございます。道路については、市でも道路課を中心にパトロールをしまして、今見て歩道の石のめくれが危なそうなので、一番危険なところとか、危険そうなところを優先にできるように、修理なりで現状に戻したいと思います。

あと、白線等は舗装の打ちかえも含めて計画的に順番にやっています、市内の全体から見ると一番優先度の高いところからやってきていますので、今指摘があったところも早目にできるように、まず現状を確認させていただいて対処していきたいと思います。いずれにしても危険なところから、やらせていただきたいと思います。

## 桜台3丁目自治会

最後にもう一つ、先ほど会長が言っていたロケ地の歩道の舗装が非常に粗い、いわゆる雨が降っても浸透するようなアスファルトで多分やってあると思うのです。3丁目の入り口の何メートルかで、ここがボロボロ剥げていっているのです。ここも見ていただいて、アスファルトの粒が粗いからこうなるのか、それとも踏みつけが甘かったのかどうか、道路課に見てもらいたいと思います。

## 桜台3丁目自治会

もう一つは、北環状線のところが桜台中学校から小倉台方面に向かっていくと低くなっているところがあって、去年の台風の前に水に浸かってしまって、去年は台風が二つ連続で来まして、1個目のときに水に浸かってしまい、消防自動車が出動したのですが、2回目の台風が来る前には、市に連絡して対処してもらいました。何とか台風は通り過ぎましたが、予報ではかなりひどい大きな台風が来

るということでしたので、避難所になっている小学校と中学校のすぐ裏の道路が水に浸かってしまうと、そこを避難してくる人が、緊急のときに避難場所に行くことができないということが起こりますので、水に浸からないようにお願いしたいと思います。

### 桜台3丁目自治会

それを言うと、福祉センターの前も非常に低いです。福祉センターのところも、できたばかりですが、あんな作り方をするのかなど思っているのですが、水がすごいです。大雨のときは、水が溜まりますと書いてある看板が立っていますが、ちょっとおかしいなど。交差点からずっと下り坂になっているので、大変な水が集まる。排水はポツポツあるのですけれども、それではとても追いつかない。排水の水も流れ出てきます。

### 桜台3丁目自治会

水浸しになってしまうと、避難するとしてもそこから水が来る恐れがあって、怖くて避難できないし、これより向こうの人は自分たちが水に浸かりそうでも、避難のしようがないという事態が起こる。学校か桜台センターにしか避難できない、でも、この道路が水浸しで全部冠水してしまうと、3丁目のこの辺も全部冠水するし、小学校、中学校も避難できないという状態が起きるので、どうなのかと思っています。

私は阪神大震災も経験していますし、神戸は地震が起きると思っていなかったところもあって、今市役所もいろいろやってくさっています。昨日4番街の支部会があって、もし災害が起きたとき、桜台に市役所の人に来るまでに川があるので、そこで道路が寸断されて助けに来てもらえない、孤立してしまうという話をお聞きしました。

だから市の助けが来ない、避難しようと思ってもここが水浸しになったらどうしたらいいのだろうという状態になってしまうので、水に浸からないように、低いところを何とかしてもらるか、側溝が詰まらないようにしてもらおうといったことを、お願いしたいと思います。

### 市長

ありがとうございます。北環状線の一番の解決は、やっぱり北環状線の開通です。側溝が途中で止まってしまっているのが、開通が大きな解決の元になっています。それについては、早く開通できるようにして、低いというのは、この土地はもともと確か地山だったので、高低はなかったと思っていました。地盤沈下か何かがあったのですかね、そこは気づかなかったです。

### 桜台3丁目自治会

印西との交差点が一番高いです。あそこからグーッと下がってきていますから。

### 桜台3丁目自治会

北環状線は、二車線、二車線で中央分離帯があるのです。桜台中学校の手前ぐらいから、七、八年前から台風か何かですごく雨が降って、道路が冠水したのです。それで、行けるかなという感じで北環状線を桜台中学校の方に車で向かっていくと、結局行けませんでした。でも、中央分離帯があるから、戻るに戻れない。みんな、そこで数珠つなぎで、どうしようかと。自分の車は小型だったので、その二車線の中をUターンして、その道に戻っていったという経験があるのです。あそこが詰まると大変困ります。中央分離帯があるから戻るに戻れない。そういう面でも、あそこは気をつけてもらいたいですね。

### 市長

冒頭に申し上げたように、北環状線の開通はいろいろな面でこの地域にとってはメリット、プラスになるので、北環状線が開通するという事で、今のお話もかなり防げるでしょうし、全力を挙げて、まず北環状線をやっていきたいと思います。

側溝のごみ詰まりについては、その都度パトロールをして、台風が来る前には、市役所でも浸水しそうなところは土のうを積むなど対応をしています。落ち葉などが詰まるのは、詰まってからでないと対応できないのですが、台風などは担当部署が夜通し詰めて、対応していますので。

### 桜台3丁目自治会

前回のときもすぐに対応して下さったのですが、次の台風が来てしまいそうだったので、皆さんが怖がっていたのです。

### 桜台3丁目自治会

私は、市民大学の関係で、総合計画の勉強会をやっているのですが、今スタートしている総合計画で、残念ながら桜台地区の話があまり出ていないかなと思っていて、伊澤市長が2期目になって、かなり具体的にいろいろ西白井など、進んでいるだけに、余計に何か取り残されるのではないかという不安がありまして、計画ですから、同時にいろいろ全部できるとは思いませんが、桜台地区、今後どう展開される思いなのかをちょっとお聞かせいただけたらありがたいと思います。

### 市長

これは桜台地区に限らず、みんな同じですけれども、ご存じのように少子化、高齢化で4年後には人口減が始まるという予測が出ているので、まずそれを少しでも遅らせたいということで、市の全体の考え方としては、市の魅力を高めて、白井市は首都圏30キロ、成田空港からもちょうど30キロで魅力ある地域だから白井市に住んでみてくれませんかということをシティプロモーションでいろいろ宣伝していきます。

もう一つは、白井から就職や結婚を機に、若い世代の人たちが転居、市から出ていっている。その方々を、また親子三世代に、同居でなくていいから近居をしてくれませんかということで、去年の4月から近居のための補助金を創設しました。今、8組ぐらい帰ってきています。だんだん影響が出てきていて、私が聞いたその8組のうちの2組は、残っているお父さん、お母さん、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんが呼び寄せたのです。ちょうど孫が小学校に上がる頃だということで、今近所にいるのですが、戻ってくる若い世代の方も、例えば急に保育園に行っていて熱が出たときに、おじいちゃん、おばあちゃんに看てもらえる、息子あるいは娘夫婦がおじいちゃん、おばあちゃんの具合が悪くなったときに、すぐに対応できるということで、すごく良かったという話をいただきました。何組かは中古住宅、いわゆる空き家を活用しています。ですから空き家活用も含めて、そういう施策をやって徐々に効果が出てきていまして、これからさらに進めていきたい。

出てきた8組のほか、問い合わせが7、8組あるそうですが、お互いにどこかのタイミングで、また戻ろう、あるいは来てもらいたいという気持ちがあるのです。それだけでは判断が難しいのかもしれませんが、たまたま補助金があることによって、1世帯当たり子どもがいれば50万円、いない場合は40万円という補助金ですが、それで行動に移したという呼び水的なものがあるので、これをしばらく続けてみたいと考えています。そうすると空き家の解消にもつながってくる、親子近居になって、子どもにとっても、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に近くにいれば、情操豊かな子どもになるということで、今取り組んでいます。

市民大学校を受講された方もいらっしゃるので分かると思いますが、同じような授業を小学校6年生と中学校3年生にもやっています。「白井市は良い街だから白井市で活躍してください」ということも子どもたちに伝えています。そうすると仕事の場所ということも出てくるのですが、白井工業団地を子どもたちに紹介しています。あそこには約300社あるのですが、世界に誇れる技術を持った会社が、たくさんあるのです。子どもたちには、一番分かりやすいもので、例えばスカイツリーの鉄骨を作った会社、ディズニーランドやディズニーシーの催しの一部をつくった会社、心電図は、フクダ電子が世界的に有名です。深海1万メートルに潜った江戸っ子1号、1万メートルの深海でも潰れないガラスやレンズを作った会社、びっくりしたのは東日本大震災のときに、岩手県の陸前高田市の奇跡の一本松がありました。その一本だけ残った松が腐ってしまったということで、特殊な繊維を使ってそれを修復した世界に誇る素晴らしい企業が白井にあるのです。子どもたち全てが事務系を希望するわけではないと思いますので、ものづくりという仕事も、ちょうど皆さんも下町ロケットも見ても有名になっていて、白井にもそのようにしたい会社があるので、会社の紹介をしています。

それで、去年、国のまち・ひと・しごと地方創生の補助金で4,500万円を確保できたので、それを使って工業団地を全国に向けて情報発信をするため、11月にはビッグサイトに工業団地PRの出店をして、国内外に宣伝をしたり、ホームページも新しく作ったりしているということで、工業団地は白井市の財産です。あそこに毎日7,500人の人が働いているのですが、白井市民は1,100人程度しかいないのです。15%しかいない。ほとんどの人が市外からですから、恐らく毎朝、工業団地に行く車が、

木下街道の方からかなり通ると思うのです。平塚や今井などは、市外から接続する道は朝夕かなり渋滞するので、工業団地に接続する道路の整備も始めます。

この地域に限っていえば、小学校区単位のコミュニティづくりは、先ほどおっしゃったように、今自治会の加入率がだんだん下がってきています。恐らく平均で60%ぐらいです。

特に新しく転入した方には、「自治会に入って何か特ですか、自治会費を払って何かメリットがあるのですか」と必ず聞かれます。一番のメリットは、地域でコミュニティができて、何かあったときに地域で助け合うことができるのではないかと。一番生活に関係があるのは、ごみの出し方や出す場所といったことがあるのですが、だんだん地域が落ち着いてくれば、地域の中で、例えばお祭りをやったり、困ったことがあれば地域で解決をしたり、今、結構やっているのは防犯活動ですね。それから子どもの見守りといったことを地域で出来るので、やはり自治会というのは地域の一つの単位です。ですから、自治会に入る加入率を高めようということで、転入者には市民課窓口で自治会の入会について、これは市が強制できませんから、自治会についてのパンフレットを渡していて、何とか増やしたいのですが実際は減ってしまっているのです。地域の方々が自治会に未加入の方については、皆さんからも自治会に加入していただけるような働きかけをしていただければ、もちろん市もやりますので、一緒にやっていただければ助かります。

自治会加入率が一番高いのは富士地区で、あの地域はお祭りをやるにも人がいっぱい集まって、防災訓練をやると市の防災訓練より集まってしまうくらいです。5、6百人くらいは集まってしまう、すごい地域です。地区の自治会長さんに伺うと、どこでも同じなのでしょうが、1班大体2、30世帯くらいの班の班長さんが、会員の家を回るなどいろいろかなり努力している。それが次の班長さんになっても、また同じことをやっていくという、恐らくあの地域の伝統だと思います。防犯、防災、あとお祭りなど、かなりまとまっている地域ですが、ただその自治会長さんも新しく入って来た方には入会してくれない方もいるということはおっしゃっていました。ですから、新しく来た方にいかに入会してもらえるかというのが、まず大きな第1段階だと思います。それは先ほど言いました、市と皆さんで取り組んでいくことです。この地域を含めて、コミュニティづくりが一番大変だと思います。

総合計画でもコミュニティがしっかり出来てくれば、まちづくりを地域単位、例えば予算1,000万円を地区に預けて、その地域に合ったまちづくりをしてください、というところまでいければと思っ  
ていまして、小学校区単位のまちづくりを続けることができればそういうことも可能です。そうすると、ひとつひとつ市が議会に諮らなくても済む、地域で決められる。これは地区自治ですね。そこができればと思っていますので、それには皆さんとの協力が必要で、皆さんも地域をしっかりまとめたものにしていかなければいけない。

### 桜台3丁目自治会

富士地区がうらやましいです。富士は古くからのまちですか。

## 市長

そうですね。戦後に開拓されたと思います。昭和30年代前後からです。

## 桜台3丁目自治会

北総線の電車の中で、初めて工業団地のPRを見ました。

## 桜台3丁目自治会

それだけ素晴らしいものを何かいろいろもっとPRできたらいいですね。世界に誇れるのですから。

## 市長

そうですね。白井第二小学校は工業団地のすぐそばにあるので、その子たちは知っているのです。他の学校に行くと、工業団地を知っている人がいるかを聞いても、手が挙がりません。それだけ子どもたちが知らないということは、その親も多分知らない、話に出ないということなのでしょう。それで、子どもたちに話をすると、だんだんそういう会社あるのだと分かってくるのです。

## 桜台3丁目自治会

近隣地区の小学校や桜台小学校も、工業団地に社会見学など行かないのですか。

## 市長

行っている学校もあります。工業団地の方も、どんどん来てもらいたいということで、市と一緒に去年から工業団地の集団説明会、就職説明会等をやっています。ある企業は白井高校出身の子たちを何人か入れていて、少しずつ連携が出てきました。できれば白井で育った子が工業団地に勤めてもらえれば、今のところ交通手段が車しかないのですが、恐らく往復30分ぐらい、片道15分ぐらいで行けると思うのです。東京に勤めていると、片道1時間半ぐらいで往復3時間ちょっとかかってしまう。そうすると、自分の時間もたくさん持てます。

## 桜台3丁目自治会

あとはアピールですね。それから地域住民も見学できるようなツアーのようなものができたらいいですね。

## 市長

そうですね。結構、市内のパートタイマーもいるそうです。今、「交通手段の確保のため、循環バスを主に回して欲しい」という要望をもらっているのですが、循環バスは1時間に1本くらいしか回れないのです。なぜかという、循環バスのルートは要望などを受けて見直しているのですが、こちら

の地区もそうですが、そのたびに例えば千葉ニュータウン中央駅、西側は新鎌ヶ谷駅に行ってくれという意見があります。新鎌ヶ谷総合病院に行くということで、新鎌ヶ谷まで路線を伸ばしたのですが、そのルートを入れると片道1時間20分ぐらいかかってしまうのです。

そうすると、市内を1周回る時間が長くなってしまい、次のバスが来るまでの時間が長くなってしまいます。それで、市役所の隣に病院を二つ誘致できて、老人施設もできたということで、これから高齢化がどんどん進んでいくと、運転免許証の返納も出てくると思います。より返納しやすくするために、循環バスを市内、病院、市役所、公共施設、買い物できるところをぐるぐる回して、大体買い物と病院と公共施設が自分の思った時間帯に行ければ、恐らく免許を返納してもそんなに大きな不便がないと思いますので、市内に病院ができたということを契機に、本当の市内の循環にまた戻そうと思っています。

そのときに、工業団地も回れるようになれば、市民もいろいろな使い方ができると思います。それから、民間のバスが白井駅経由で新鎌ヶ谷駅に行くようになります。「ちばにう」という生活バスとレインボーバスです。ですから民間ができるところは民間でやってもらって、循環バスには本来、交通空白地や福祉的な要素がありますから、そちらに戻していきたい。そうすると、パートさんも工業団地に行きやすくなるでしょうから、早く切り替えが出来ればと思っています。

### 桜台3丁目自治会

バスのステップなども大丈夫ですか。バスは回っているけれども、ステップが高いと母は乗れなかったもので、ステップを下げるために運転手が降りてきて、皆さんを待たせていると言っていたので。

### 市長

今はノンステップバスといって、より低くなっています。以前はドンドンと上がっていかねければなりませんでしたが、そういうことはもうないです。バスに足がかかれば、そのままずっと平ですから、高齢者にも優しいバスになっています。

### 桜台3丁目自治会

それから、いろいろなイベントなどをやっても、なかなか皆さんが出てきてくれないです。それで、ちょっと興味を持ったのが、横浜の方でウォーキングをしたらポイントがたまる制度があると聞いたことがあって、万歩計のようなものを配って、みんながウォーキングしたら、その数でポイントがたまって、市内で買い物ができるというもので、それによって皆さんがすごく歩くようになったということを知ったことがあります。せっかく桜台センターの保健室を開放してもらっても、そこに何回か来たらポイントがたまって何かメリットがあるような仕掛けがないと、人はいろいろなイベントをやっても、プレゼントを出さないとなかなか集まらないような時代になっていると思いますので、防災訓練のときも皆さんに来てもらうために、「防災グッズを啓蒙で差し上げます」とすると人が集まるの

です。人間の弱いところですけども。

だから、健康増進にもつながって、みんなに会えて、しかもお得というように、何かあればいいと思います。それで市内で買い物ができたら、市内のお店も潤うというように。

それから、工業団地の工場が世界に誇れるということを、今日初めて聞いて、認識不足で申しわけなかったです。とても感動しました。今すぐにでも見学に行きたいぐらいで、だからそういうことをもっとアピールができればいいかなと思います。

## 市長

本当に遅いくらいで、去年から本格的に取り組んで、私も学校では3年くらい前から特別授業を始めていて、市民大学校でもやっていますけれども、やはり白井は、先ほど言いました都心に近くても緑がまだあるということも財産で、千葉県で一番大きい内陸工業団地、4,500億円の生産額を誇っています。これも財産で、財産をうまく活用しなければいけないですね。

## 桜台3丁目自治会

工業団地自体に、桜台の人はあまり関心が向いていなかったのので、今の話を聞いてすごく感動しています。やはり世界なのですね、下町ロケットではないけれども、それだけのものを持っている市に私たちが住んでいるという、何かすごくアピールできるものがあればいいですね。

## 市長

先ほどお話ししたように、電車の中吊りや、まだ制作中ですけども、ホームページもだんだんよくなってきています。

今はネットの社会ですから、やはりホームページを充実させるということは、かなり効果がありますので、ビッグサイトに出た後、いろいろな外国企業などからも問い合わせが来たそうです。出ていけば何か反応が出てくるのです。機会があれば毎年ビッグサイトに行くということも一つの大きな効果があると思います。

## 桜台3丁目自治会

また、それだけの魅力あるまちというところで、先ほどお話しがあった1世帯当たり50万円を出して呼び寄せるなどの取り組みで、どんどん白井に愛着というのか、私たち桜台の人は、生活圏が印西なので、なかなか白井に愛着が生まれにくい地域でもあるので、これだけのことを持っていれば、私たちの白井市はすごいということで、自慢できるようなところに住んでいるということアピールできたら。



## 市長

余談ですけども、白井には三つ、日本一があります。子どもたちに話をすると、びっくりするのですが、一つは昭和55年、千葉ニュータウンが始まった次の年ですが、人口急増日本一になったのです。人口の伸び率が日本一、人口急増というのですが、特に学校などをたくさん作らなければいけないので、国から指定されて、国に指定されると有利な補助金があったり、起債が借りられたりといったことがあるのですが、これが一つ目の日本一。

もう一つは、平成13年に、これはあまりいい日本一ではないのですが、BSEが日本で初めて出ました。白井には、あまり酪農家がないのです。小さい酪農家で、当時2軒しかなかったのですが、出たのがすぐそばの酪農家で、20頭ぐらいしかいないところから出たということで、9月10日にたくさんさんの報道各社がワーツと来て大変だったのですが、次の日にニューヨークのセンタービルにアルカイダが飛行機で突っ込んだのです。それで、今度そっちに流れたので落ち着いたのですが、やはり、真摯に対応するとマスコミ対応で時間と労力が取られてしまいます。

あと、梨が日本一です。梨は、千葉県では生産1位です。全国では、実際4位なのですが、何で4位になってしまったかという、合併が全国で進んで、合併したところはどんどん大きくなって、梨を作っている地域のところの合併だと生産量が増えますので、今福島市がトップだと思うのですが、やはり合併して大きくなったところです。でも、味は日本一と言っています。今、タイやモンゴルに行っているのですが、現地では中国の梨が売られていますが、日本の梨は向こうで売ると10倍ぐらいするのです。でも、あっという間に、飛ぶように売れてしまいます。向こうは所得階層にかなり幅がありますから、中間から上の人たちはどんどん買っていきます。ですから、梨だったらどこに輸出しても、多分負けなと思うのです。今年は、また別の国、できれば台湾を狙っていますけれども、今、台湾は東日本大震災の放射能の関係で輸入制限がかかっています。今で言うところと一昨年ですけども、台北のすぐ隣にある桃園市という人口200万人の都市ですが、その市長さんと議員さんが視察に来ました。それで、そのときはまだ現大統領になる前ですから、政権が変わればその輸入禁止を解きたいということで、日本の梨も好きで食べていると言っていました。去年の9月にも南投市、台湾バナナの産地だそうですが、その市の方が来て、2週間前くらいに千葉県台湾商会というのがあって、ぜひ梨とバナナを交換輸入したいと。それはいいことですねということで、そういう話が進んでくれば、緑というのは農地が大変大きな役割を果たしますので、農地を残すということは、農家の収入を増やさなければいけない、それには少しでも単価を高くしてあげれば収入は増える。そうすると、次の若い世代が農業を継ぐ環境ができるので、何だかんだ言っても収入を増やさないと農家は成り立たないですから。

あとは野菜や米の農家ですね。こちらのほうにも、私は行商車といっているのですが、やおば一くらの行商車が地域を回って、地産地消でどんどん新鮮な野菜や果物を地域の人に食べてもらう。再来年には新しい給食センターができますから、給食センターができたなら、そこに地域の野菜などを卸して、子どもたちに地域で出来たものを食べてもらうということをやっていくと、中でどんどん経済が循環

していくので、やはり経済を循環させるのが一番活気も出てくるし、そうすると遠くに配達、移送する手間も省けて経費も省ける、CO<sub>2</sub>も削減できるということで、全ていいことなのです。給食センターは市役所のすぐそばにできますから、公共施設がかなり集積されるので、効率がよくなってくると思います。

ですから、皆さんが循環バスで市役所に来れば、病院にも行かれる、保健福祉センターにも行かれる。高齢者施設もありますから、そこに行くこともできるということで、これからはコンパクトにまとめていかないと、たくさんお金があるわけではないので、少ないお金を集中的に使って良くする、利便性を高めるという、そういうまちづくりが一番大事になってくると思います。

### 【進行】会長

そろそろお時間ですが、最後に何かありますか。

### 桜台3丁目自治会

最後に防災についてお聞きしたいです。

2年前に桜台3丁目でも自主防災会の規約を作りまして、昨年度、会長や皆さんの力で防災倉庫と機材をある程度、ある程度といっても最小限、本当に少ないのですが購入しました。今年度、来年度に向けて中身を充実していこうと考えている中で、個人でやるところと市がやるところ、その間に自治会があると思うのですが、その中でいろいろな意見があるのです。ここまでやるべきだ、ここまではやらなくてもいいのではないかと。その中で、今日時間がない中で根本的に聞きたいのは、市がここまでやります、個人はここまで、市が最低限自治会に求めているところ、それがあって、どこまでやるかということをも3丁目自治会でも決めていきたいと思うのですが、一言では言えないと思いますがどこを目指しているのか、市がここまでやって、あとはこの辺は自治会、個人だというように、線引きのところをお聞かせ願いたいです。

### 市長

防災というのは本当に大事なことで、今、市が取り組んでいることは、まず桜台小学校にもありますが、防災井戸をすべての小学校に作りました。これは地震が起きても、崩れないようにする。自家発電も持っています。ですから、まず水を確保しました。そして各学校に防災倉庫を作りましたが、そこは広さに限りがあり、防災倉庫の広さが10㎡しかないのです、そんなに大きな備蓄は出来ませんが、防災倉庫があります。

それと、水と食料を旧梨ブランデー会社の倉庫、今は農業センターといいますが、そこにストックしてあります。基本的には、3日分のストックが必要だと言われているのですが、実際6万3,000人分の3日分というのは物理的にも確保できないのです。ですから、防災協定をセブンイレブンなどコンビニ、ホームックなどホームセンターと結んで、緊急のときにはそういったところから食料や水が

供給できる体制を組んでいます。それから、他の地方自治体とも結んで遠方からも来るようにしています。実際、市でも災害があったときに水を送ったり、もらったりしています。これが、市の取り組みです。

自治会と家庭については、まず家庭は、この前の防災訓練ですと、3日ではなくて1週間用意してくれと言われていました。ですから、各家庭で、できれば1週間分の非常食を用意していただければなどと思っています。

自治会ですけれども、自治会は置く場所や予算などの問題があって、本来であれば、各家庭で1週間備蓄されていれば、それ以外のものになるわけです。例えば、ある自治会では発電機を用意したり、自治会で井戸を掘ったりしている自治会もあります。あと簡易トイレは市でも用意しますが、数に限りがあるので簡易トイレを用意している自治会もあります。

市で用意しているものなどは、ホームページにも出ていますし、担当の市民安全課に問い合わせいただければ対応します。暮らしの便利帳にも出ていますので参考にさせていただいて、「市と学校でこれだけあるから、我々の自治会では、こんなものが足りない」、例えば「まだまだ各家庭に10日分の食料が行き渡っていなければ、ある程度の水と食料は必要だ」、それで、各家庭が用意できれば、違うものを揃えるというように、だんだんなってくると思います。ですから、それは各個人の家と自治会との関係を把握するということが一番大事ではないかと思います。

### 桜台3丁目自治会

今の話は食料や物のことですが、災害が起きたときに私自身が思うのは、市と各家庭の連絡が大事ではないかと。情報の提供や、こうしてくださいといったときに、その間に立つことを自治会がやるのか、それとも、そこは市が各個人のところまでやってくれるのか。そのときの連絡や情報提供といったことについては、どうでしょう。

### 市長

まず一つ、市が主体となってやることは、避難所の設置です。この地域だと学校の体育館になります。避難所の設置をして、避難が必要な人の誘導や広報をします。

まず、一番大事なことは自助です。自分の身は自分で守ってもらう「自助」、まず自分を守る。それから、共助です、地域。これは自治会が多分中心になると思うのですが、「共助」。お互いさま、隣近所で共助を行う。私たちは、そこに「近助」を入れています、共助の手前に「近助」、隣近所の声かけ、助け合いが一番大事だと思います。それで、自助、近助、共助がある程度できると、今度「公助」、公が動いてきます。公も事故が起きて数時間は、避難所の設置など応急対応をしますが、食料や毛布といった生活必需品というのは、交通の状況にもよりますので、少し時間がかかります。ですから、公助が届くのは、今まで3日と言われていましたが、もっと大規模になってくると、なかなか3日でも届かないかもしれないということで、1週間という期間が出てきたのです。まず自助、近助、共助、

それを自治会の方でいろいろやっていただければと思います。

連絡係は、その中で多分、出てくると思います。例えば、避難所の設置をします、そこに職員が配置されます。一方で避難所に来ないで各自治会の集会所に来ている人もいて、ガス、水道は全部止まっていますと。では、そっちにも食料、水が必要であれば届けます、何人分なのかといった連絡係は多分、自治会の防災の方から出していただくのが一番早いと思います。

### 桜台3丁目自治会

3丁目は、集会場がないのです。用地はあるのですが、何年か前に否決されましたので。

### 桜台3丁目自治会

そのときの私の記憶ですと、もともと用地はあって、確か十何年か前に市から5割ぐらい援助しますというような提案があったので、200人ぐらいの会員を対象にアンケートをとったところ、会場としては桜台センターがあるので、必要ないのではないかということで否決されています。確か今はもう補助金はないですね。その当時も、来年、再来年でないとなくなりますという話もあったのですが、当時のみんなの意見としては、いらないだろうとなりました。この高齢化の中ですから、制度が残っているのであればどうなるのか、調べていただけると。

### 市長

まだ、宝くじの助成があるのかどうか、それも含めて積み残しというのか、未回答の部分がありますので、まとめて回答させていただきます。

### 桜台3丁目自治会

十何年前は、こんなに地震や災害などは考えられなかった、住んでいる年代ももっと若かったから、今は状況が変わってきているのかもわからないけれども、とにかく無関心が多いので、すごく困っています。

だから、富士地区のように結束ができるところが本当にうらやましくて、昨日も4番街の方にお邪魔していたのですが、皆さんが火の用心で毎週夜回りしていて、その後に集会所に集まって、お酒を飲むなど、コミュニケーションをとっているのです。だから年齢の高い人がつながる場所をきちんと持っているところは、やっぱり強いなと思いました。だから富士地区もそうですが、なかなかそういうことにはならなくて、今、自治会費を100円から300円に上げてといっても、かなり反対があるなど、いろいろな動きがあって、もうめげそうになるときがあります。

しかし、阪神大震災を経験しているので何とかつながりを持って、今、お聞きすればするほど、ここがいい街で、ずっとここに住んでいたい。だからこそ、つながりを大事にしていきたいと思いつながら一生懸命動いても、なかなか賛同を得られなくて、すごく困っています。でも防災のことが中心な

らまとまれるのかなと思って、防災倉庫も本当にやっとできたのです。5年前に震災があっても、なかなかできなかったのです。やっと今回できて、やっとスタートして、でも、その資材を揃えるお金すら集めるのに揉める。だから、誰も自治会長をやりたくない、そんなことばかり続くのですね。でも、誰かが何とかしないと何も回っていかない。それでも、水に浸かってしまうなど、そういう心配をいつもしているのですが、皆さんのご主人や、みんなまだ会社に行っているのです。残っているのが、結構年齢の高い、もうリタイアされた方と主婦層、子どものときに大きな震災が起こったら、東京から旦那さんは帰ってこられないではないですか。そうしたら、残っている主婦と年齢高い人で、それを乗り越えないといけないので、それをどうにかしたいのです。

中学校の子どもたちは割と体も大きく力もあるので、そういう子どもたちと一緒に連携も取りたいのですが、今回防災訓練があるということでも、校長先生が一言、「今度、防災訓練があるので家族で出ましょう」と言ってくれば、もっと人が集まるのです。でも、その声掛けもないので、子どもたちは防災訓練があるということを知らなくて、何か消防自動車来るから見に来る、という感じで、学校もそれぐらい意識が高ければ、みんなが集まりやすいと思っています。

年齢が高く力のない私たちが残された昼間、旦那さんや若い男性がいない状態で、もし川の橋が落ちて、市からの援助が3日も1週間も来ないときに、どうやって乗り越えればいいのかなど、いろいろなことを真剣に考えるけれども、何か勝手にやかましいおばちゃん何か言っている、と思われているのかなと考えるとすごく辛くて、今、市長さんの富士地区のお話などを聞くと、桜台でも、そういう結束ができたらいいなと思います。

## 市長

一つ、参考になるかもしれませんが、池の上小学校で、一昨年からリアル防災訓練をやっています。あれは一つ参考になると思うのです。自治会の防災の担当の方々とPTAが主体となって、子どもたちが学校の体育館で泊まって、消防署も来て防災訓練をして、ご飯炊きなどをやるのですが、それを通して地域がある意味固まってくるというのか、かなり参加者が多かったです。

もう一つ、大山口中学校だったと思いますが、PTAでやった交通安全の関係のイベントもかなり地域の人が集まって、ですから防犯、防災、交通安全というのは、皆さんの共通事項ですから、地域をある程度まとめて同じ方向に向かうには、こういう皆さんの共通事項の何かの活動をされたら、少しずつ集まってくるのではないですかね。

## 桜台3丁目自治会

池の上小学校は見に行きました。行ったときに、減災塾が手伝っていて、その方とお話ししたときに、そこも校長先生が替わってから変わったとのことでした。だから、校長先生しだいなのかなと。だから市からも校長先生に呼びかけていただければ、ありがたいです。

## 市長

桜台の校長先生もいい先生なので、お話ししておきます

## 桜台3丁目自治会

お願いします。それで大分動きが変わると思うので、減災塾も前の校長先生のときには、どれだけ言っても学校を貸してくれなかったと。避難のときに体育館しか使えなくて、実際に教室は一切使えないと言われたときに、小学生の子どもたちから、「防災訓練ではないけれども、本番のときになぜ保健室は使えないのですか」と質問がありました。だから、体育館以外は絶対に入ってはだめ、ということも子どもの質問であったように、ちょっとおかしいのかなと思いますので、臨機応変に対応していただければいいかなと思います。

## 市長

とにかく、やはり小学校単位、小学校は地域の中心ですから、小学校を中心にやっていくということが一番いいと思うのです。自治会一つの単位だと、どうしても小さいですから、大きなものは小学校校区単位で。それで、先ほどおっしゃったように、自治会でできることは自治会でやるということで、自助と共助と近助の組み合わせだと思います。もしも、そういう計画といたっていろいろなことがあるのであれば、市役所の市民安全課が主体となっていますので、問い合わせただければいろいろなアドバイスもできますので、何かあるときには必ず市も応援しますので、ぜひ一緒にやっていただければと思います。

## 桜台3丁目自治会

ありがとうございます。心強かったです。

## 桜台3丁目自治会

一つだけ、お願いしたい。今、新しいトヨタニュータウンという大きい住宅が出来ているのですが、そこと2番街にも新しいのができていると思うのですが、多分、まだ自治会などは立ち上がってないはずですが。ここも早急に市が指導して、立ち上げていただきたいということをお願いしたいのですが。

## 桜台3丁目自治会

トヨタホームのところは、「星と時のヴィレッジ自治会」が11月24日に立ち上がっています。ナリタヤのところは、ずっと前から住んでいるのですが、できていません。星と時のヴィレッジ自治会は、トヨタホームが主体となって、桜台支部の会議もきちんと傍聴に来てくれていて、どういう会なのかということを知っていましたが、そちらの2番街の方はどなたも来ていないです。ただ、3番街の賃貸の多いところは脱退、撤退されているようです。

## 桜台3丁目自治会

3番街は、撤退しています。賃貸で入っている住民なので出入りが激しいということで、自治会長も対応できないし、自分も年だということで、解散したいということがあったようです。

## 桜台3丁目自治会

昨日聞いたのですが、ミサワホームでもマンションの方で何かアンケートをしたらしくて、桜台支部の支部会は何か脱退したいということを知り、そちらには市役所の前年度支部会に担当課と

して出ていた人が住んでいるはずなのですが、その人は説得してくれなかったのかなと思います。お名前はわかりませんが、前年度まで担当課で支部会に出ていたのであれば、説得してくれたらいいのと思いますが、支部会を抜きたいとおっしゃって、結局、役員の負担が大きいなどと言われて、でもみんなで結束して、この災害は乗り越えないといけないと思うので、支部会の方で、「脱退します」という流れを何とか止めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

## 市長

それは、ここ数年で自治会加入率が7割から6割に落ちてしまっているの、本当に何とかしないとイケないと思っています。

## 桜台3丁目自治会

でも、強制加入ではないという裁判の記事が出てしまったので、裁判でも勝っているでしょうとなってしまう。結局、防犯灯費なども自治会で負担しないとイケないのに、抜けている人がいますので。

## 市長

集合住宅のように、管理組合はほぼ強制的というか、全部入らないとできないものですから、どこかの管理組合では自治会に移行したところもあるのです。それは皆さんの同意を得てなので、そうすると全員加入になります。一戸建ては、そういうものがないので、自治会しかないです。

## 桜台3丁目自治会

ないので、もう来年度は入りませんという書類を出されると、それ以上何も言えないので、もう終わりなのです。

## 市長

先ほど少しあったように、地域の人に関心があるものから少しずつやっていって、何か少し関心を持ってもらって、いずれにしても1回でもいいから出てくれればいいですね。出てみると、結構楽しいな、知り合っているな、という感じも出て、仕事をしているときは忙しいけれども、リタイアしたときには隣近所を知っていた方が居場所も多くなって、楽しみがあると思うのです。

## 【進行】会長

そういうまちにできればいいのですが、なかなか難しいところがあります。それでは時間ですので、終わりにします。ありがとうございました。

## 市長

皆さん、今日はありがとうございました。皆さんの貴重な意見などは必ず受けとめて、お返しするところは、すぐ担当課と協議して文書でお返ししたいと思いますので、どうぞこれからもよろしくお願いします。今日は、ありがとうございました。

—以 上—